

当事者団体連絡会の報告 (平成 28 年 3 月～ 6 月)

1 開催日

平成 28 年 3 月 10 日・4 月 14 日・5 月 12 日・6 月 9 日

2 内 容

- (1) 各団体の活動報告・情報交換
- (2) 各部会・運営会議の報告
- (3) 当事者団体連絡会の活動について

ア 昨年度の振り返り

- ・「障がい者の自立した暮らしを考えるつどいパートⅢ（2/27 開催）」の反省

- ①当事者（障がい種別）毎に困りごとニーズが違う。相互理解を深める必要がある。
- ②「親亡き後」のテーマは、意図した方向には盛り上がらなかった。

取り組みの視点、取り上げ方に一段の工夫が必要と感じた。

- ・医療的ケアの進展を教訓に、困難なことも時間をかけてでも取り組んでいくことの重要性を再確認した。
- ・年金や手帳取得などの制度に関する学習会に、関係部署の職員に参加していただきたいとの要望があった。

イ 課題

- ・団体間の相互理解を深めながら交流を更に進めていきたい。
- ・差別と感じていることを出し合って行政に伝えていきたい。
- ・会員の高齢化、新会員が入ってこないという各団体共通の悩みがある。

ウ 今年度の活動

- ・「緊急時」や「親亡き後」の備えとして、「福祉サービスに繋がっておくことの大切さ」を再確認するため、「福祉サービス（制度）」についての学習会を企画していきたい。
- ・同様の趣旨で、新しい取り組みとして期待されている「地域生活支援拠点」についても学習を進め、当事者の立場から期待・要望を発信していきたい。

(4) その他

- ア 住所変更に伴う精神保健福祉手帳・自立支援医療受給者証の変更手続きに約 3 か月の時間を要した。その間の医療費を立替負担する必要もあったため、もっと時間短縮できないものか。

⇒ 事前確認に時間を要する事例（他市からの転入）であったこと、また、市からの進達後、県から受給者証が届くのに通常でも 2 か月程度かかることが原因であった。

- イ 精神障がい者は精神科以外の通院費用の自己負担分が重い負担となり困っている。

⇒ 精神障がい者としては、精神科以外の自己負担分についても、身体・知的障がい者と同じく全額助成を希望する。

当事者団体連絡会 平成 28 年度スケジュール

	取り組み	
	・福祉サービスに繋がっておくことが、緊急時の備えになることを発信し続ける。 ・福祉サービス等について学習会を開催する。	
	学習会	活動・準備
4月		今年度の取り組み検討
5月		今年度の取り組み確定
6月		9月日程調整・会場確保
7月		9月進め方検討
8月		
9月	「福祉サービス（制度）」について	
10月		9月振り返り 2月日程調整・会場確保
11月		2月進め方検討
12月		
1月		
2月	「地域生活支援拠点」について	
3月		2月振り返り

※各団体からの検討事項については随時協議する。